Blogger による公式サイトデザインの実験
Experiment of official site design by Blogger

尚美学園大学　斎藤 忍
Shobi University　Shinobu SAITO

要旨：2015 年 11 月現在、CMS を利用してデザインされている世界のウェブサイトの 25%は WordPress によって構築されている。
http://w3techs.com/technologies/details/cm-wordpress/all/all
http://venturebeat.com/2015/11/08/wordpress-now-powers-25-of-the-web/
しかし WordPress を企業の公式サイトで利用するためには、以下のような問題がある。
①メニューボタンの追加などのデザイン的な要素を伴う管理と更新には、専門的な知識が必要となり、一般的なコンピューターリテラシーのみで対処するのは難しい。
②専門知識を持った内部スタッフが不在の場合、WordPress の設置と管理は外部の専門業者に委託することになり、そのために高額な費用が発生する。
これらの問題を解決するために WordPress の代わりに、無料レンタルブログサービス Blogger を利用した企業の公式サイトのデザイン制作の実験を行った。

Abstract: 2015 of November, 25% of the websites in the world that are designed by using the CMS is built by WordPress.
http://w3techs.com/technologies/details/cm-wordpress/all/all
http://venturebeat.com/2015/11/08/wordpress-now-powers-25-of-the-web/
However, in order to use the WordPress at the official site of the company, there is a problem such as the following.
① The update and management with the design elements, such as the addition of a menu button, specialized knowledge is required, it is difficult to deal only in the general computer literacy.
② If you do not have the internal staff with specialized knowledge, WordPress installation and management will be outsourced to external professional, high costs are generated for that.
Instead of WordPress in order to solve these problems, an experiment was conducted in the official site design production company to use the free rental blog service Blogger.

キーワード: ブロガー,レンタルブログサービス,公式サイト,CMS,ワードプレス,ウェブデザイン
Keyword: Blogger,Rental blog service,Official site,CMS,Wordpress,Web design

1.　WordPress について

1.1 概要

サーバーにインストールして利用する CMS としての WordPress は､2003 年 5 月に初版がリリースされた当時は、オープンソースのブログソフトウェアであった。しかし近年では、国内でも代表的な CMS として認知されるようになっている。

オープンソースであることから導入コストが低く抑えられ、近年になってインストールが自動化されたレンタルサーバーも増えている。

2016 年 5 月現在、ロリポップ！、ヘテムル、さくらサーバー、エックスサーバー、GMO デジロック、ネットオウル等のレンタルサーバーが WordPress の簡単インストールサービスを展開している。従ってインストール作業と基本的なブログ部分の制作であれば、一般的なコンピューターリテラシーだけでも対応できるようになった。

WordPress では、2000 以上の「テーマ」と呼ばれるデザインテンプレートと、4 万以上の「プラグイン」と呼ばれる拡張機能が用意されている。そしてこれらを活用することで、無限に近いデザイン展開が可能となり、初心者から上級者まで幅広い層の利用者からの支持を得ている。

WordPress は年に 2 回から 3 回のサイクルでバージョンアップが行われ、その中で年に 1 回以上は、初期設定の「テーマ」も更新される。初期設定の「テーマ」は最新のウェブ標準に準拠し、最新のトレンドを意識したデザインが採用されていることから、初期設定の「テーマ」がそのまま利用されるケースが最も多いことが推測できる。

3.2	TwentyEleven	2011 年 7 月
3.5	TwentyTwelve	2012 年 12 月
3.6	TwentyThirteen	2013 年 8 月
3.8	TwentyFourteen	2013 年 12 月
4.1	TwentyFifteen	2014 年 12 月
4.5	TwentySixteen	2015 年 12 月

＜表 1＞

WordPress のバージョン／テーマの名称／リリースの年月

WordPress の最新版（2016 年 5 月現在バージョン 4.5）の世界中でのダウンロード数は約 1200 万（2016 年 5 月 6 日現在）である。
https://wordpress.org/download/counter/

1.2 WordPress のメリット

WordPress を利用するメリットとして、一般的に以下のような項目が挙げられている。

（1）予め用意されているデザインテンプレートを利用するため、デザインのスキルやセンスが不要となり、デザインのユーザビリティーやビジュアルに費やす時間が削減できる。

（2）HTML や CSS、JavaScript などの専門知識を必要とせず、一般的なコンピューターリテラシーだけでも制作と更新が可能である。

（3）数多く公開されていているオープンソースのプログラムを利用することで、制作コストが抑えられる。

（4）複数のスタッフによるワークフローを明確にすることで、更新作業の効率化が可能となる。

1.3 WordPress のデメリット

これに対し、WordPress を利用するデメリットとしては以下のような項目が考えられる。

（1）メニューボタンの追加などのデザイン的な要素を伴う変更には、専門的な知識とスキルが必要となり、一般的なコンピューターリテラシーのみで対処するのは難しい。

（2）専門的な知識とスキル持った内部スタッフが不在の場合、WordPress の管理を外部の専門業者に委託することになり、アウトソーシングのための費用が発生する。

（3）WordPress 本体のアップデートに対し、「テーマ」や「プラグイン」のアップデートが対応していないケースが発生する可能性がある。この場合、双方のバージョンの相違が原因で、コンテンツ全体が非表示になり、復旧に時間と労力を要するケースもある。

また「テーマ」や「プラグイン」の多くがオープンソースであるため、開発者が恒久的な管理が困難になるという問題や、開発者の責任の範囲が不明確になるという課題もある。

＜図 1＞

使用できるプラグインのカテゴリー（1 つのタイトル文字）からのリンクで各 300 種類から 2000 種類程度のプラグインのダウンロードが可能

（4）個人サイトでは、試行錯誤と学習を繰り返しながら少しずつサイトを構築していくプロセスが WordPress の人気の要因でもある。しかし企業の公式サイトでは、そのような学習を OJT で対応することは困難である。

2. Blogger について

2.1 概要

Blogger はブログ出版ツールの先駆けの一つであり、現在は「レンタルブログサービス」という位置付けである。アカウント登録することで Google のサーバー内に無料でブログを制作することができる（WordPress のようにサーバーにプログラムをインストールする必要はない）。

現状では、日本国内の主要なブログサービスの中では唯一「広告が表示されないブログサービス」としての人気も高い。また管理画面より独自ドメインへのリダイレクトも可能である。

2006 年の仕様変更により、全ての Blogger が、Google 上のユーザーアカウントに結びつけられ利用できるようになった。Google 上のユーザーアカウント数は（最もアカウント数が多いと推測される）Gmail で 4 億 2500 万人（2012 年 6 月・全世界）である。Blogger 自体のアクティブユーザー数は非公開であるが、Blogger の共通 URL である「blogspot.jp」を Google 検索すると、32,700,000 件がヒットした（2016 年 5 月現在）。

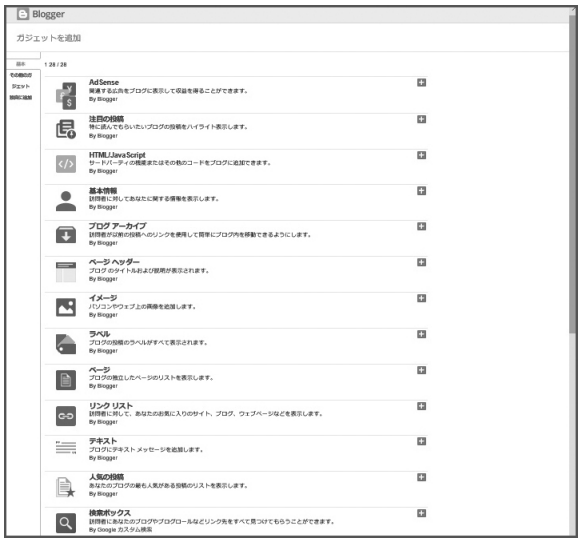
Blogger は CMS ではないが、2004 年 5 月に CSS 準拠のテンプレートが用意され、WordPress の簡易版的な使われ方をすることが多くなった。現在でもネット上では Blogger と WordPress の機能やデザインを比較評価する個人サイトが多く存在している。

2.2 Blogger のメリット

Blogger を利用するメリットとしては、次のような項目が挙げられる。

（1）構成がシンプルである。サークル、トラックバック、Ping 送信等の使用頻度が低いと想定される機能が省略され、ユニバーサルデザインを意

識した、シンプルで感覚的に理解しやすい構成になっている。また WordPress の「テーマ」に相当する「テンプレート」や、「プラグイン」に相当する「ガジェット」は、厳選された少数のアイテムのみとなっている。2016 年 5 月現在で標準の「テンプレート」は 34、サードパーティー又は Google が提供するカスタムテンプレートは 1000 以上と推測されている。「ガジェット」の基本ガジェットは 28、サードパーティーによるガジェットは 926 となっている。



＜図 2＞

Blogger の基本ガジェットの一部

(2) Google+、Picasa などの Google の他のサービスとの連携が可能。Google アカウントからログインすることで、Google の様々なサービスとの連携が可能となり、Blogger で省略された機能の補完が可能となる。

＜図 3＞」

Google のサービス一覧の一部（2016 年 5 月現在）

https://www.google.co.jp/about/products/

(3) Google 検索との親和性が高く、Google のインデックスに登録されるまでの時間が早いと言われている。ただしこれについては確実な検証が困難（Google の検索アルゴリズムは非公開）であり、一般論である。

(4) カスタムテンプレートやガジェットの多くはオープンソースであるが、Blogger 自体のバージョンアップは WordPress のように頻繁には行われず、不具合の起こる可能性は低いと推測できる（Google の公式発表では、2011 年 12 月にバージョンアップが行われたという記録があるが、それ以降バージョンアップの情報は無い。ただし対応ブラウザのバージョンの数値等は定期的に更新されている）。

2.2 Blogger のデメリット

Blogger を利用するデメリットとしては、次のような項目が考えられる。

(1) サーバーを直接管理できない。「レンタルブログサービス」であり、Google のサーバーをレンタルして使用するこが前提となるためである。

(2) バックアップが困難である。Blogger 内にバックアップをダウンロードしておく機能はあるが、以下のような問題もある。

①手動で定期的に行う必要がある。

②xml ファイルであるためファイルの内容を目視で確認できない。

③バックアップはテキストデータのみで画像ファイルはバックアップできない。ただし Google の「Picasa」を利用することで「Picasa」側でのバックアップが可能となる。

(3)Google のアカウント自体が Google によって削除されてしまう可能性がある。その場合、他のサービスとの連携もできなくなり、「Picasa」でデータをバックアップすることも不可能になる。

しかし削除される要因の大半は Google の利用規約に違反した場合であると推測される。利用規約違反とは、例えば児童ポルノに該当してしまうような写真（投稿者は該当しないと思っていた場合であっても）のアップロードなどであると推測される（削除された場合には、利用規約違反の該当項目や、違反との判定に至る経緯など、Google 側からの説明は一切ない）。

3. Blogger を利用した企業公式サイトデザイン制作の実験

3.1 条件

一般的なコンピューターリテラシーの初心者でも制作可能とするため、以下の条件を設定した。

(1) テンプレートは標準テンプレートから汎用性の高い「シンプル」のホワイトを使用。

(2)「ガジェット」では基本ガジェット以外は使用しない。

(3) テンプレートの「HTML の編集」によって直接 HTML の編集作業は行わない。

＜図 4＞」

Blogger による企業公式サイトのトップページ

3.2 想定した企業イメージ

従業員 50 名規模の中小企業（製造業）を想定した。中小企業における公式サイトの運営管理には以下のような問題があり、これらを解決するためにもBloggerによる公式サイトの活用が有効であると思われる。

（1）サイトの制作と更新を外部業者に依頼しているケースが多く、そこにかかる費用が効果として反映されていない。

（2）外部業者への連絡の遅延や失念、また外部業者の対応の不備などでタイムリーな更新が行われていない。

（3）「新着情報」が更新されておらず、年末年始と夏期の休業予定のみにしか利用されていない。

（4）経営者が公式サイトの必要性に疑問を抱いている。または全く関心がないため、効果的な活用が行われていない。

3.3 デザインのポイント

企業サイトで重要なコンテンツが電話番号と住所の表示である。特にモバイル用のページでは外出先から電話をする、またはGoogleMap で位置を確認するなどの目的での活用されることが多い。電話番号をタップすることで架電（モバイルのみ）、住所をタップ（クリック）することでGoogleMap が起動（モバイル用、デスクトップ用とも）するものとした。

また、表示されるブログ記事を「2」とし、最初には電話番号と住所、二番目にはコンテンツのメニューが表示されるようにした。

＜図 5＞

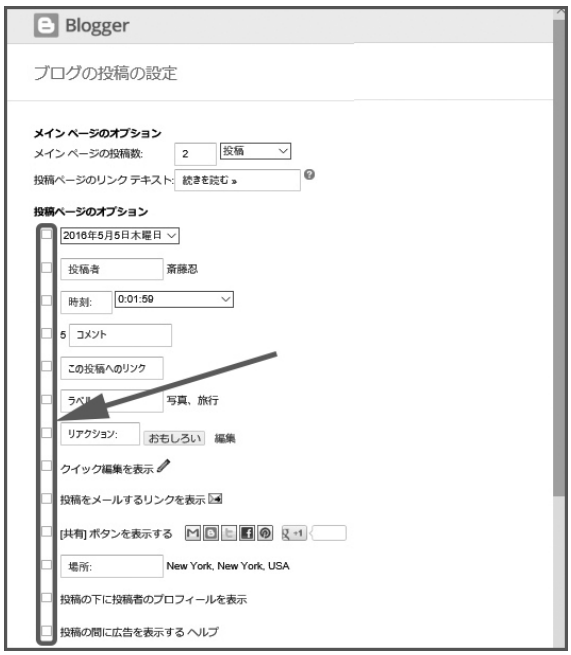
「設定」→「投稿とコメント」→「2」を入力

次に各ブログ記事にメニューページによりリンクする「会社概要」「社長挨拶」などを 1 ページずつ投稿し、管理画面より常に内容を編集して更新できるようにした。

＜図 6＞

管理画面の「投稿」→「すべて」で投稿記事の一覧が表示され、該当する記事のページを随時編集（更新）することができる

また、管理画面の「レイアウト」→「ブログの投稿・編集」→「投稿の設定」では全てのチェックボタンを外し、ブログのように見えない（公式サイトのように見える）ことを意識した。



＜図 7＞

投稿の設定で全てのチェックボタンを外す＞

デフォルトで各ページの下部に「ホーム」のテキストリンクが表示されるが、「Cross-Column」に「ページリストを設置」ガジェットで「ホーム」にチェックを入れるだけで、各ページの上部に「ホームボタン」が表示されるようにした。本来はリストを表示するための機能であるが、「ホーム」にチェックを入れることでボタンが生成される。

＜図 8＞

ページ リストの設置画面

サイト内で使われた画像は自動的に同じアカウントの「Picasa」にもアップされる。「Picasa」のアカウントとフォルダ名を指定することでスライドショーを制作することも可能となる。

ただし画面上部の「Cross-Column」に設定した場合には、画質が著しく劣化するため「Sidebar」への設定を推奨する。

スライドショー用の画像は「Flickr」「Photobucket」などのアカウントから設定することも可能である。ただし、スライドショーはモバイル用ページでは非表示となる。

＜図 9＞

スライドショーの設置画面

4. 成果

本実験によって Blogger を利用することで「一般的なコンピューターリテラシーのみで公式企業サイトを構築する」という目的は達成できたものと思われる。

Blogger では「テンプレート」の「上級者向け」の設定や、「HTML の編集」でソースを書き換えることで、より進んだカスタマイズも可能となる。

ただし、これらの機能は未使用であっても、公式サイトとしてのデザインが可能であるということが検証できた。

＜図 10＞

上から「会社概要」「社長挨拶」「製品使用例」のページ

サイトデザインについては「シンプルでわかりやすい」という意見と「ビジュアル的に物足りない」という意見に別れることが予想される。また本実験ではヘッダー画像をフォントのみの構成によるシンプルなデザインとしたが、写真やイラストなどを追加することで、より個性的で訴求力のあるデザインも可能となる。

5. 課題

5.1 データのバックアップ

データのバックアップは、基本的に Google のサーバーにアップロードする形式の「レンタルブ

ログサービス」であるため、レンタルサーバーのような確実なバックアップ体制は望めない。このことは将来的にも変更は困難であると予測され、基本的には Google によるアカウントの削除を防ぐために利用規約に違反しないように注意しておくことが必須となる。

5.2 スライドショー

スライドショーは大きな画像（横幅 800 ピクセル以上）がウェブデザインのトレンドであるが、Blogger では「Cross-Column（Header 直下に大きく）」に設定した場合に、画質が著しく劣化するため、「Sidebar」に設定することになる。このため、ビジュアル的な訴求力に欠けることになる。恐らく Blogger が低速な回線速度に考慮したものと推測されるが、世界的な回線速度の向上に伴って、今後改善されていくことに期待したい。

5.3 モバイルページ

Blogger は基本的にレスポンシブデザインであるが、デスクトップ用のページがデザイン拡張性に富んでいるのに対し、モバイル用ページはカスタマイズできる範囲が限られている。基本的なコンセプトが「デスクトップファースト（パソコン優先）」のようである。

現状ではモバイルのトップページは下図のようになり、デスクトップ用で「ブログ記事の二つだけを表示する」「最初には電話番号と住所、二番目にはコンテンツのメニューを表示する」という設定は反映されていない。

＜図 11＞

モバイルのトップページ

トップページから「電話番号と住所」をタップすることで下図のようになる。モバイルにアクセスして最初に表示させたい画面である。

＜図 12＞

モバイルの電話番号と住所のページ

現在、モバイルユーザーは世界的に急激に増加しており、モバイルページへのアクセス数はデスクトップを上回ったと言われている。

このような状況の中で Blogger のモバイル用ページのユーザビリティーと拡張性の改善に期待したい。

※モバイルとデスクトップの違い

本稿では HTML ソース上でスマートフォン用に記述されたファイルが表示された画面を「モバイル」、それ以外を「デスクトップ」と区別している（デスクトップにはデスクトップパソコンの他、ノートパソコン、タブレット端末、フューチャーフォンも含まれる）。

参考サイト

W3Techs 利用統計やウェブサイトのためのワードプレスの市場シェア
http://w3techs.com/technologies/details/cm-wordpress/all/all
VentureBeat WordPress now powers 25% of the Web
http://venturebeat.com/2015/11/08/wordpress-now-powers-25-of-the-web/
WordPress 4.5 has been downloaded
https://wordpress.org/download/counter/
Google について - サービス
https://www.google.co.jp/about/products/